

ちよつとしい話

～ 正しく ～

22年5月1

「春の海^{ひねもす} 終日^{ひねもす} のたり のたりかな」と与謝蕪村^{よ さぶそん}が何処^{なが}の海を眺めながら詠んだのか知りませんが平和で幸せ^{へいおん}平穩^{へいおん}そのものを思い浮かべます。しかし地球上で今年^{まっ}は一月にカリブ海のハイチ、二月末に南米のチリ、四月に中国の青海省玉樹チベット族自治州で大きな地震に見舞われました。又、北欧のアイスランドでは火山が爆発し、火山による火山灰の影響を受けてヨーロッパで多くの飛行場が閉鎖されたり、増水による災害が予想される為、住民が非難したりと大変な事態が発生しています。この様な自然^{もうい}の猛威もさることながら、私が危惧^{きぐ}するのは人間が引き起こす大小の突発的^{きぐ}事件が発生したらどのように対処すれば良いのか思い悩みます。小さい事件、例えばロシアの地下鉄で起きたテロ、ドバイの情報機関による殺人、拉致、タイランドのデモ、等々話題に事欠きません。しかし最も恐ろしいのは原爆等の核を用いた、無差別殺人が起きたら人類の破滅につながって行く事になるでしょう。自然の猛威とは又違い、愚かな人間によって「核」が使われないと言う保障は無いのですから。日本は被爆国だからもう落とされる事は無いと考えるのは早計でしょう。

先のごことは誰も確約できません。 佛様に我が身の安全を願ひましよう。

世の中、「清く 正しく 美しく」と少なくとも三つが具われば先ず人間として合格点が頂けるでしょう。六道巡りの戒めでもあります。清くとは「煩惱に惑わされる事無く、邪心に支配される事なく清淨な心身を保つ事」です。正しくとは「正しく物を見聞する為の眼力を培い、正しい思考力を養い、正しい行動ができる様にする事」です。目が狂えばノコギリでも切れなくなります。美しくとは「真、善、美が繕うことなく自然のうちに整い、身に美しい輝きを与え、やがて身に美しさが備わり、羨もできてしまう事」です。そうなれば佛様は大喜びされ「此方へ来い、此方へ来いとお呼びに成り、我々を苦の無い世界に導き給うのです」。生きるという事は「苦」の上を歩いている、と言っても過言では無いと思います。思いが叶う事あれば、自分の努力は勿論ですが先祖や佛様にも感謝しなくては勿体無いこととなります。今日以後大難は小難、小難は無難に難無き様に生活をさせて頂けます様に佛、菩薩に祈念し、檀信徒の皆様方と共に信仰を基盤に充実した毎を送りたいと思います。喋々喃々